

「2011年3月期 第2四半期 決算説明会」 質疑応答

Q1)下期の海外市場売上高を下方修正し、金融市場売上高を上方修正した要因を教えてください。

A1)海外市場は、中国や東南アジア、インドは好調ですが、欧米向けの販売が低調です。金融市場はオープン出納システムや窓口用紙幣・硬貨入出金機の販売が好調です。

Q2)金融市場の上期営業利益率は、過去の水準と比較していかがでしたか。

A2)オープン出納システムや窓口用紙幣・硬貨入出金機等の高付加価値製品の販売が順調であったため、従来に比べて利益率が高まりました。

Q3)OEM製品のコストダウン要求への対策について、教えてください。

A3)グループ会社などを活用した現地生産の拡大、部品の現地調達等のコストダウンを推進してまいります。

Q4)中国での商談の状況を教えてください。また、今後の売上高の見込みを教えてください。

A4)中国四大銀行を中心に、一昨年あたりから紙幣整理機の販売が順調に拡大しました。ATMの普及から紙幣の正損分離のニーズが高まっており、今後も販売拡大が期待できます。また、中国での売上高は、今期35億円、来期50億円を計画しています。

Q5)2011 中期経営計画の進捗状況は？

A5)中期業績目標の達成につきましては、海外市場への売上拡大がポイントとなりますが、市場環境を分析・検証しながら計画をローリング中です。

Q6)円高への対策を教えてください。

A6)ドルについては、ドル建てによる部品調達を進めた結果、今上期は円高が利益増に結びついています。また、ユーロについても、欧州での生産・調達体制の構築を進めるなどの対策に着手しています。